

## 第5回学校運営委員会 協議結果《概要版》

## ■社地域小中一貫校愛称について

事務局	<p>【協議内容について説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A「募集に関すること」、B「選定に関すること」の2つをメインに協議し、決定すること。</li> <li>・ 「募集に関すること」の協議内容が「募集要項」の内容に、「選定に関すること」の協議内容が「選定要項」の内容に反映されること。</li> </ul>
-----	---

## A「募集に関すること」

委員	募集は「する」ということでよいか。
【 異議なし 】	
委員	募集の範囲はどうするか。東条地域の際はどのような範囲だったのか。
事務局	地域の学校ということで、東条地域の募集で意見がまとまりました。
委員	全国といった案は、募集期間等も考えると広すぎるのではないか。
委員	社地域でよいのではないか。
事務局	社地域に募集をかけることで、「地域とともにある学校」に向けて、地域の思いが、より反映されやすくなるとは考えます。
委員	前回も子どもたちから多くの応募があったということなので、社地域でよいと思う。
委員	募集範囲は、社地域でよいか。
【 異議なし 】	
委員	応募箱を設置する場合、どのような募集の形になるか。
事務局	応募用紙を持参して応募箱に入れていただく場合、ホームページからダウンロードしてメールに添付して送っていただく場合、応募用紙をFAXで送信する場合、郵送等、いろんなパターンがあります。
委員	募集期間はどうか。
委員	子どもたちはそれぞれの学校で集めてもらって、市民は郵送してもらったら良いのではないか。
委員	子どもたちが使っているタブレットから応募することはできないか。
委員	入力したものを、市教委に直接送信することができないのではないか。おそらく学校に届くことになる。人数が多い学校は集計が大変であり、応募用紙の方が、書いてすぐ提出できるので良い。
委員	ホームページから、直接応募することはできないのか。
事務局	セキュリティ等の関係もあるので、一度担当部署にも確認します。
委員	周知方法についてはどうか。12月広報には間に合わないと思うが。
事務局	広報1月号には掲載する予定です。

委員	あらゆる媒体を通じて周知するというのでいかがか。
【 異議なし 】	
委員	募集期間だが、1か月で良いか。
事務局	学校で配布し、子どもたちが考えて応募することや、市民が様々な方法で応募することを考えた時に、どのくらいの期間をとれば十分かということになります。
委員	選定において、仮に加東市内の児童生徒数分の応募があったとして、学校運営委員会でどのようにして集約していくのか。あらかじめ事務局でグループ分けするのか。
事務局	前は、重複した愛称もありました。応募があったものを一覧にして配布し、選定基準に則って選定をしました。
委員	選定はどのようにするのか。
事務局	特定の名称に偏る等は、地域の方の思いと合致しないこともあるかと思えますので、ご意見を聞きながら選定する作業になります。そのためにも選定基準を定めています。
委員	何回かに分けて選定するのか。
事務局	応募数にもよりますが、できれば1回で選定したいです。
委員	いつぐらいに集まっていれば、スケジュール的に間に合うのか。
事務局	募集要項、選定要項については書面決議を行うことを、前回の開校準備委員会で説明しましたので、今日の会議結果がまとめ次第、委員全員に送付します。また、定例教育委員会でも報告します。広報1月号に掲載する予定ですので、1月に募集をかけます。1月下旬に学校運営委員会で3～5点に選定し、2月下旬に開校準備委員会で1点に絞り、選定されたものを教育委員会で決定する予定です。遅くとも年度内には発表ができればと考えます。
委員	1月から学校にも依頼をすると、子どもたちの冬休みを考えた場合募集期間が短くなるのではないかと。
事務局	冬休みを入れると実質は短くなります。1か月とれば、冬休みを考慮しても3週間は確保できると考えます。
委員	広報には1月号に載せるが、子どもたちには冬休み前に用紙を配ってもいいのではないかと。地域には1月からのお知らせが良い。
委員	募集期間は1か月でよいかと。
【 異議なし 】	
委員	応募用紙への記載内容はどうか。
委員	「愛称の意味又は理由」という項目は、必須でなくてよいかと。
事務局	愛称に込められた思いの部分ですね。
委員	必須とした場合、思いを文章にすることが難しく、それによって応募数が減ってしまうことも考えられるが、そこがあれば選定の際の参考になるのではないかと。
事務局	「愛称」「住所又は学校名」「氏名」は最低条件と考えます。
委員	「愛称の意味又は理由」が書いてなくても有効という考え方でよいかと。

事務局	その通りです。
委員	応募条件はどうするか。
委員	あまり多くても集計の際に困るのではないか。
委員	一人一点の応募で良いか。
【 異議なし 】	

#### B「選定に関すること」

委員	「選定方法」だが、「協議により3～5点選定する」とあるが、選定の際に、応募作品の一覧表が配布されるということか。
事務局	応募されたものは、すべてお示しする予定です。
委員	事前に配られたものの中から、個人で5点ほど選んでおいた方がよいのではないかと思う。
委員	数が多く出てきた時に、愛称に込められた思いをくみ取れる余裕があるかどうかというのが心配だ。投票の方がよくないか。
委員	一覧表を作成される際、理由も一緒に記入してあるのか。
事務局	すべて一覧表にまとめて、事前にお配りしたいと思います。
委員	だったら投票でもよいのではないか。
事務局	学校運営委員会の中で、3～5点に絞る際に投票でということか。
【 異議なし 】	
委員	次に、「選定基準」を協議するうえで、小中一貫教育の計画が上がった平成27年当時のことを考えることが大切だと思う。どこかの学校が合併・統合されるのではなく、一つになって新しい学校がつくられるという理念があったかと思う。そういったことも選定基準に含まれたほうがいいのではないかと思うがいかがか。
委員	これまでにとらわれない新しい学校ということであれば、既存の学校に使われている名称は含まないといったことを、選定基準に書かなければならないのではないか。
委員	それだと社を含まないということか。
委員	含まないなら含まないで、明記しておかないといけない話かと思う。
委員	小学校はそれぞれあり、中学校は現状1校だ。社中学校という名称がある中で、初めから選定基準で「含まない」とするのは、難しいのではないか。
委員	「含まない」というのは決定事項か。
委員	協議された方がよいという提案だ。
委員	滝野地域は、学校名に滝野という共通した名称があるが、社地域はそうでない。愛称なら含まなくても良いかとも思うし、迷うところだ。
委員	開校準備委員会の総意で含まないと決めたら、外部から説明を求められたときに、しっかりと説明できなければならない。社という名称が出てくるのは予想できるので、それでよいのかということだ。基準を設けることで、新しい名称が出てくることもある。
委員	愛称が決まってから、条例上の学校名が決まるのか。
事務局	その順番で考えています。

委員	多数決により決めないのであれば、募集の時点で制限をかける必要はないのかなと思う。
委員	多数決であっても、そこまでする必要がないのかなと思う。
委員	制限をかけることで、応募数が少なくなる可能性もあるのではないかな。
委員	加東みらいこども園があるから、加東というのが付かないほうがいいのかな。
事務局	そのような考えはありません。あくまでも応募の作品の一つと考えます。
委員	そこに既存の学校名を含むのか、含まないのかということを確認すべきだと思います。
委員	まったく新しい学校名にするのであれば、既存の学校名を省いた方がよいのではという意見だったが、私は、選定基準はこのままでもよいと思う。
委員	「社地域の新しい小中一貫校」という書き方であれば、共通理解が図られるのではないかな。
委員	「住民の理想や願いを大切にしたもの」という基準があるので、何かを省くというのではなくて良いのではないかな。
委員	特別な基準は設けないということで良いかな。
【 異議なし 】	

#### その他

委員	ほかに何か質問はないかな。
委員	募集範囲を社地域としたが、社地域「在住」ということでよいのかな。よく「在勤」や「在学」ということがあるが。
委員	教職員なら、市外の方もおられたりすると思うが。
事務局	事務局としては、社地域在住の方と考えています。また、学校に関わることであり、普段子どもたちと一緒に教育活動を行っていただいている先生方については、市内に在住しているかどうかは、問わない方向で考えています。
委員	応募用紙の愛称記入欄の例として、〇〇小中学校とあるが、そうなることはあるのかな。
事務局	愛称は特に決まった形はありません。東条の例を参考にしますと、愛称が参考になって、学校名が決まっていく可能性があります。

#### 確認事項

委員	以下の内容となるが、いかがかな。
<b>A. 募集に関すること</b>	
募集の有無	募集する
募集範囲	・社地域に居住する者 ・社地域の加東市立小学校及び中学校の児童・生徒及び教職員
募集方法	・応募用紙を①持参、②郵送、③電子メール、④FAX ⑤応募箱へ投函（社地域市立学校及び社公民館に設置） ・市ホームページから入力フォームへ記入し提出⇒セキュリティ上の担保が難しく今回は見合わせます。
周知方法	市ホームページ、市広報紙、KCV等
募集期間	1か月間（令和4年1月4日～1月31日） ※児童生徒用の応募用紙は、終業式までに配布。

記載内容	①愛称 ②愛称の意味又は理由 ③住所又は学校名 ④氏名 ⑤年齢又は学年 ⑥電話番号 ※必須 (①③④)
応募条件	1人1点
<b>B. 選定に関すること</b>	
選定方法	・学校運営委員会において投票により3～5点選定 ・開校準備委員会において協議により1点選定
選定基準	・地理的にイメージできるもの ・歴史、文化、特徴を表したもの ・住民の理想や願いを大切にしたもの ・住民が親しみやすいもの ・その他社地域の新しい小中一貫校としてふさわしいもの
<b>【 異議なし 】</b>	
事務局	選定要項の「選定方法」について、学校運営委員会において3～5点を選定する際は、「投票」による選定、開校準備委員会において選定する際は、「協議」でよろしいでしょうか。
委員	開校準備委員会の選定方法は、ここでは決められないのではないかと。
事務局	募集チラシにあるように、開校準備委員会で協議して、選考していくという形でよろしいですか。
<b>【 異議なし 】</b>	
事務局	選定基準「その他社地域小中一貫校としてふさわしいもの」の明記の仕方ですが、協議にあったように、「その他社地域の新しい小中一貫校としてふさわしいもの」の表記でよろしいですか。
<b>【 異議なし 】</b>	
事務局	選定基準を(1)～(5)まで上げているが、(1)から優先されるものとして、順番に定めているわけではありません。番号ではなく、「・」で先頭を明記してよろしいですか。
<b>【 異議なし 】</b>	

■今後のスケジュールについて

事務局	案では、次回の学校運営委員会を令和4年1月下旬としていますが、協議の結果、募集期間が1月いっぱいとなりましたので、その後のスケジュールを調整していきます。令和4年度以降に協議していく校歌等にも、今回決定する愛称が影響していくと考えます。 11月26日の定例教育委員会でも、今日の内容を報告します。また、開校準備委員会委員にも早急に送付します。
-----	--